



図書だより 1月

平成29年1月13日
開南幼稚園 永森 加奈



あけまして おめでとうございます

今年もよろしくお願いいたします。暖かな年末年始でした。子どもたちの顔を見ると、家族そろって楽しい思い出がいっぱいの冬休みだった様子がうかがえました。子どもたちが経験したことに合わせて絵本を選べるように、子どもとの対話を大切にして、工夫していきたいと思えます。

3学期はまとめの学期です。来年度に向けて期待が膨らんでいることと思います。何事も聞く力が基本です。楽しいお話しで、聞く力が自然と身に付くといいなと思っていますので、“絵本のおはなし会”をたくさんしていきたいと思っています。短い3学期ではありますが、絵本を通して、時間と思いを共有し、たくさんの楽しかった思いを胸に抱いて、新学年に向かっていってほしいです。



1月 貸出し

| | | | | |
|-----|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 貸出日 | 1/13 (金) | 19 (木) | 20 (金) | 27 (金) |
| | | 年長 年中 | 年少 ひよこ | |
| 返却日 | 1/16 (月) | 23 (月) | | 30 (月) |

* 行事や祝日のため変則です。年長・年中は雪遊びに出掛けるため**19日(木)**に貸し出します。

* 貸出日に欠席の場合、翌週月曜に貸し出しますので、**水曜日までに返却**してください。

お子様が自分で準備できるようにするために、**保護者の方の声掛け**が必要です。

**「入れたかな バックの中に 借りた本
お休み明けは 返却日」**

「おはなししましょ！」

1/20(金) 10:30~12:00

テーマ「ことばについて」

幼児期に子どもにかけられる言葉の数によって、その後の学ぶ力が変わります。肩肘張らなくともちよつとした工夫でできることを考えてみませんか？いらしてください。

早期教育より 遊びとふれあい

お母様方にお薦めしている一冊“**子育てに「もう遅い」はありません**”の著者である、十文字学園女子大学特任教授・内田伸子先生の以前、朝日新聞に掲載されていた言葉をもう一度紹介します。

『幼児期に本の読み聞かせをたっぷり受けた子や、手先を使うブロック遊びを好んでいた子は、小学校の国語の学力が高い傾向があります。幼児期のしつけのスタイルや保育形態が影響を与えることがわかります。みんなに同じことをさせる「一斉保育」よりも、子どもの主体性を重視して、遊びを中心にした「自由保育」を受けた子のほうが語彙得点は高くなっています。

また、「共有型」のしつけを受けた子は、「強制型」のしつけを受けた子よりも得点が高くなります。共有型は親子のふれあいを大事にし、楽しい経験を共有しようとします。本の読み聞かせでも親の見方を押しつけるのではなく、子ども自身に考える余地を残すように言葉をかけます。強制型は親の思う通りに子どもを育てたいという発想で、子どもに過度に介入しますが、褒め言葉が少なく否定的な言葉が多くなります。読み聞かせでも子どもに考える余地を与えません。親子で楽しい会話をしていると語彙は豊になります。

早期教育にお金と時間をかけるより、子どもとふれあい、遊ぶ時間をできるだけ確保することを考えるべきです。その方が、子どもの将来の選択肢を広げることにつながるのではないかと思います。』2016/1/5 朝日新聞より抜粋
“子育てに「もう・・・」”は迷った時に大丈夫とぽんと背中を押してくれるような本です。ぜひ読んでみてください。

絵本 リサイクルバザー

日時 1/25(水)・26(木)・27(金)

9:30~11:30

場所 図書室

価格 1冊・・・10円(ソフトカバー)

100円(ハードカバー)

*** 絵本を入れる袋をご持参ください**

ご家庭で読まなくなった絵本の受け入れは随時受け付けております。ご協力お願いいたします。